

問題

コマンドを実行する前に要素を選択して、もっと簡単に編集作業を行いたい。

対象製品

V-nasClair・V-nas シリーズ 全般

V-nas 専用 CAD シリーズ 全般

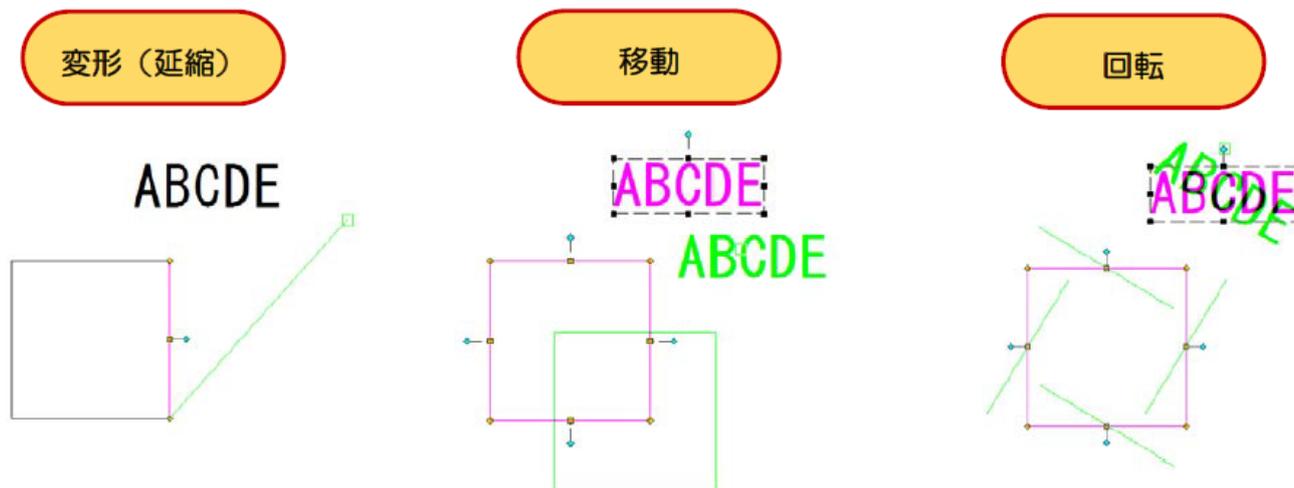
回答

「ダイレクト編集機能」を利用します。

V-nasClair/V-nas20xx シリーズの場合は、「簡易操作の切り替え」機能も有効です。

操作手順**◆ダイレクト編集機能（初期設定は ON になっています。）**

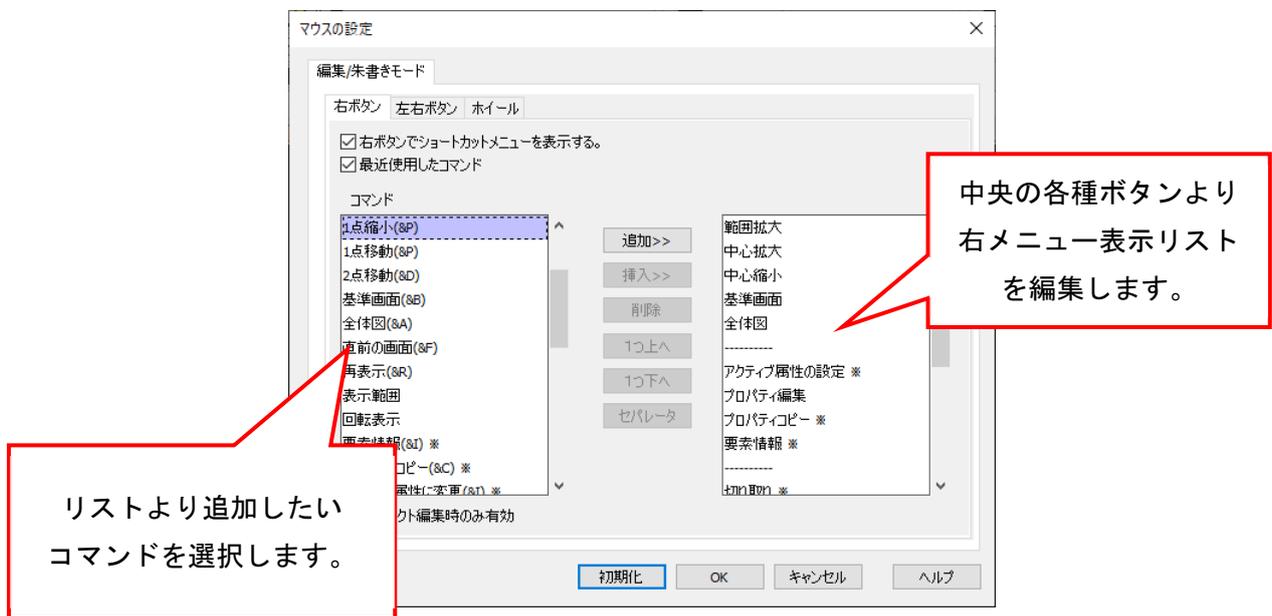
コマンドを実行せずに直接要素を選択し、マウスで構成点を掴んで変形・移動・回転が行えます。掴んだ点は他の既存点（点・端点・交点・中点等）にスナップさせることもできます。



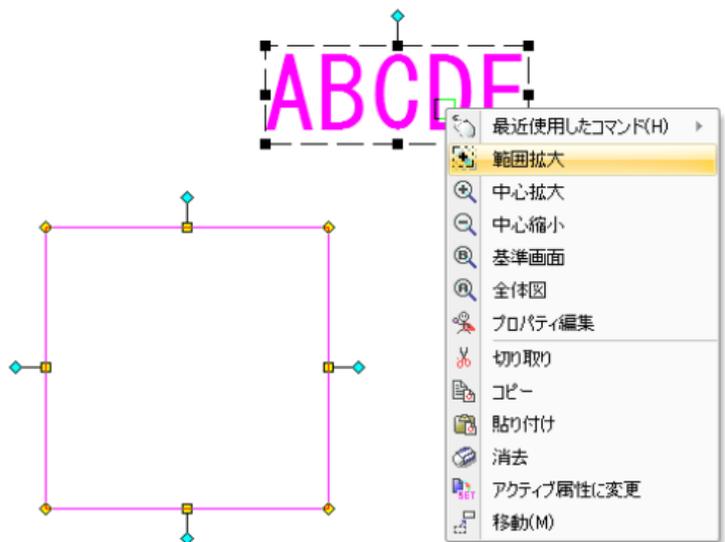
右ボタンの設定をしておけば、要素選択をしてからコマンドを実行することができます。

操作方法

1. 【設定-ユーザー設定-マウス】コマンドで右メニューの設定を行います。



2. 要素をダイレクト選択した状態で右クリックし、右メニューからコマンドを実行します。



◆簡易操作モード機能（V-nasClair・V-nasシリーズのみ） 

要素を選択して実行するコマンドについて、操作の手順を簡易化します。

対象コマンド：

[V-nas 標準モード]：[表示] タブー [操作モード] カテゴリ 『簡易操作の切り替え』コマンド

[V-nas クラシックモード]：『ウィンドウ操作モード-簡易操作の切り替え』コマンド

1. 対応コマンド一覧

対応コマンド一覧表

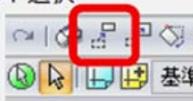
分類	コマンド		
編集	削除		
	移動	移動	
		拡大・縮小	
		回転	
		フィット	
		反転	
	複写	複写	
		拡大・縮小	
		回転	
		フィット	
		反転	
		連続	
		弧状	
	編集		
	プロパティコピー		
	スケール変更		
	文字	内容編集	
責任主体変更			
最前面へ移動			
最背面へ移動			
ツール	専用 CAD 属性削除		
ファイル	外部参照	登録	

2. 通常時と簡易操作モードの違い

例 1) 『編集－消去』 コマンドの場合

通常時	簡易操作モード時
①消去コマンド選択 	①消去する要素を選択 
②消去する要素を選択 	②消去コマンド選択 
③消去要素を決定(右ボタン) ※③で右ボタンをクリックしなければ ②の動作に戻る	

例 2) 『編集－移動－移動』 コマンドの場合

通常時	簡易操作モード時
①移動コマンド選択 	①移動する要素を選択 
②移動する要素を選択 	②移動コマンド選択 
③移動要素を決定(右ボタン)	
④配置基準点を指定 	③配置基準点を指定 
⑤移動先の基準点を指定 	④移動先の基準点を指定 図形の位置が確定し②の動作に戻る (右ボタンのクリックは不要) 
⑥移動位置を決定(右ボタン) ※⑥で右ボタンをクリック後、 ②の動作に戻る	

例 3) 『編集－複写－複写』 コマンドの場合

通常時	簡易操作モード時
①複写コマンド選択 	①複写する要素を選択 
②複写する要素を選択 	②複写コマンド選択 
③複写要素を決定(右ボタン)	
④配置基準点を指定 	③配置基準点を指定 
⑤複写先の基準点を指定 (複数個複写可) 	④複写先の基準点を指定※ 複写が完了し②の動作に戻る ※複写位置をクリックする前に簡易動作モードを オフにすると、複数個複写することができます。 その際は右クリックで複写を完了してください。
⑥右ボタンをクリックすると複写が完了し ②の動作に戻る	